

鉢物向け八重系バルディアの選抜と周年栽培技術の開発

【研究概要】

交配育種によりバルディア系統を作出し、切花用として種苗登録を進めてい
るが、その中には鉢物として有望な八重系統も含まれる。八重形質を有するペチ
ュニアやベゴニアなどの花きは近年高単価で取引されていることから、育種系統
から有望な品種を選抜できれば、東京オリジナルの鉢花としてブランド化が図れ
る。そこで本課題では、鉢物として有望な八重形質を有する系統を選抜するとともに、周年出荷を可能とする栽培技術を開発してブランド化を図ることを目的と
して試験を実施した。その中で、今年度は下記の2つの成果が得られた。

- (1) バイテクチーム作出の28系統を5～8月にかけて計3回挿し木を行い、発
根程度や活着率を評価した。その結果、系統2など9系統は平均活着率が
80%を超え、増殖効率に優れていた。
- (2) 挿し木苗の生育や樹形を調査したところ、系統14など5系統は相対的に生
育がよく、分枝が多く、節間が短いなど鉢物に適した性質を示した。